

# 『基本情報技術者試験 図解でわかるアルゴリズムの基本と仕組み』

## <正誤表>

- 62 ページ 件数カウントの疑似言語 1 行目  
【誤】 ○整数型 : sum, i  
【正】 ○整数型 : **count**, i
  
- 95 ページ 単純選択法の疑似言語 中段  
【誤】 array [i] < array [indexMin]  
【正】 array [**j**] < array [indexMin]
  
- 146 ページ クイックソートの処理の仕組み 下から 2 つ目の解説  
【誤】 i をデクリメント  
【正】 i を**イン**クリメント
  
- 163 ページ 複数ファイルの処理を実行するアルゴリズムの疑似言語 中段  
【誤】 ・ key\_a ≠ INT\_MAX or key\_b ≠ INT\_MAX  
【正】 key\_a ≠ INT\_MAX or key\_b ≠ INT\_MAX
  
- 169 ページ 上から 2 行目  
【誤】 x<sub>1</sub> − x<sub>0</sub> =  
【正】 **x**<sub>0</sub> − x<sub>1</sub> =
  
- 169 ページ 上から 3 行目  
【誤】 x<sub>0</sub> = x<sub>1</sub> −  
【正】 x<sub>**1**</sub> = **x**<sub>0</sub> −
  
- 174 ページ 下から 3 行目  
【誤】 ・ S ← S + (a + h × i)  
【正】 ・ S ← S + **f** (a + h × i) の値
  
- 191 ページ 上から 4〜5 行目  
【訂正】 経路記述に区間 EH (以下の赤字の行) が脱落している。  
  
○ D (550) − H (880) = 1430  
○ **E (850) − H (450) = 1300**  
● G (1000) − H (130) = 1130
  
- 192 ページ 「求められた最適な経路と金額」図  
【訂正】 最適経路 A−D−C−G−H 以外の経路の線は青ではなく黒が正しい。